

都市計画マスタープラン策定に係る地区懇談会(神戸地区)

— 第1回 懇談会要旨 —

1. 懇談会開催日時等

日時：平成20年2月1日(金) 19:00～20:30

場所：神戸地区公民館

市職：4名

2. 懇談会次第

1) 開会

2) 都市計画課課長挨拶

3) 懇談テーマ、意見交換

①都市計画マスタープランとは

②館山市全体及び神戸地区の都市計画の現状

③まちづくりに関するアンケート結果の概要報告

④質疑、意見交換

4) その他

5) 閉会

3. 参加者

18名

4. 神戸地区から出された主な意見

○都市計画マスタープランへの要望

- ・新たに計画を実施していく際には、その計画によって起きる弊害を十分考慮して欲しい。

○地区の整備に関する要望

- ・安房神社や小塚大師、野鳥の森等の資源のアピール及び有効活用。

5. 懇談会要旨

【資料説明】

①都市計画マスタープランとは

- ・都市計画マスタープランの役割や法的位置づけ等について説明。

②館山市全体及び神戸地区の都市計画の現状

- ・市全域及び神戸地区についての人口推移や土地利用現況等を説明。
- ・以下の事項等をテーマとして都市計画マスタープランを策定すると報告。
 - 都市計画道路の新設・廃止を含めた見直し
 - 用途地域の拡大や変更等の見直し
 - 景観形成
 - 都市公園の新設等を含めた見直し
 - 中心市街地の空洞化

③まちづくりに関するアンケート結果の概要報告

- ・アンケートの結果より、以下の事項がまちづくりの方向性に挙げられると報告。
 - 誰もが住みやすい、安全・安心なまち
 - 自然や文化を活かした観光都市
 - 公園の整備

【質疑、意見交換】

以下、参加者から出た意見を“○”、事務局からの回答を“⇒”とする。

○房総フラワーラインから相浜・富崎へ新しい道ができるという計画があったと思うが。
⇒まちづくり交付金事業で行っている。計画線上に保安林があり、その解除の手続きで時間がかかってしまっていると聞いている。

○市街地部が空洞化してきている状況なので、都市計画道路はいらない。行政は、手付かずの都市計画道路を今後どのようにしていく考えなのか。
⇒行政としては、必要性が低い都市計画道路に関しては廃止していく考えである。真に必要な道路を計画していくための意見として参考にしたい。

○神戸には安房神社や野鳥の森等もある。野鳥の森からの眺めは素晴らしいと思う。7 義民の墓もある。

○安房神社から小塚大師間の道路が狭い。観光バスが通れるような道路を作って欲しい。また、市指定文化財になってはいるが、周知されていない。野鳥の森も合わせて、アピールしていったほうが良いと思う。

⇒地域の皆様の意見を参考にしながら計画を進めていきたいと思っている。

⇒神戸は自然に囲まれて住み易く、市内では農業生産も高い地区である。国道 127 号や 410 号もあり、利便性も良い。そういうところを十分踏まえて検討していきたい。

○海洋性リゾートタウンの推進として景観を進めているが、山側は景観には関係ないのか。
⇒館山駅西口は南欧風の景観をすすめている。今後、もっと広い範囲で各地域にあった景観形成を行っていくことが必要かと考えている。

⇒神戸は景観の方針がない。同様に方針がないところに関しては、都市計画マスタープランの中で整理していく考えである。

⇒景観についてよく言われるのが、神社の近くにマンションが建設されて景観を阻害してしまうとも限らない。景観を保全するという観点から規制をかけていく必要があると考えている。

○観光立市の弊害として、観光の時期は市街地部で渋滞を引き起こす。対策として、抜け道を拡張する等して欲しい。安房神社から幹線への抜け道の整備。茂名から市街地へ抜ける道。地域の住民と話し合っ進めて欲しい。また、このように一つのことを大きく盛り上げるなら、それによって生じる弊害のことも考えて欲しい。

景観について、海岸線に高層住宅を建築していくのが良いと思う。海岸線にマッチする景観です。これにより、西風も防ぐことができる。尚、地域にあった施設、住宅、景観

形成をすすめて欲しい。

⇒現在、海岸線に関してはシンボルロード整備中です。無電化中で働めている。やビーチ利用促進モデル事業、観光栈橋の建設等を行っている。

⇒混雑解消のため、国道 127 号の 4 車線化を要望中である。また、国道 127 号から海岸線に向かうことができるような道路を計画している。

○多目的観光栈橋について、誰が行っても快適に利用できる充実した施設に整備して欲しい。

⇒担当課に意見があったことを伝える。尚、栈橋を活用するにあたり、その基部にある県立安房博物館が県から譲り受けて活用することを考えているところです。

○館山運動公園に関して、駐車場が不足している問題がある。県に問い合わせても駄目である。市として国体等が開催されたときの駐車場対策は考ええているのか。

⇒当面は、房南中学や活用できる場所からの車両イ運行での対応になると思う。

⇒運動公園周辺に用地を買ってあるが、虫食い状態である。整理するには用地不足である。県へは話をしていないが、その土地に人が寄ってくる魅力作りをしたらどうかと考えている。県で整備した遊歩道を活用し、買収した土地を有効利用について検討している。市で山林を整備し、花木園的な公園整備進める動きになっている。こうした新たなアクションをおこさないと、事業化して土地を取得することまで進まない。

○議会では特別委員会を組み、遊休土地を有効利用できないかを検討している。

⇒市では花木を整備し人の呼べるような公園的な整備を 20 年度から実施する。

○高齢化や過疎化等を踏まえたまちづくりを考えているのか。

⇒まちづくりの方向性に関して、現在コンパクトシティの考え方が広まってきている。館山市においてはどのようにしていくのかは、事務方としてもなかなか良い方向性を見出せていない。住民の意見を参考にしながらすすめていきたい考えである。

○かつて南房総を中心とした、国立公園の誘致合戦を神奈川県としたと思うが、その後どうなったのか。

⇒神奈川県と千葉県で指定を受けようと運動をしたが、全てなくなった。

○ウェルネスリゾート計画はどうなったのか。

⇒バブルとともに進出企業がなくなり計画が消えた。土地は虫食い状態であるが、土地は市が所有している。その土地の有効利用のためにアクションを起すための話し合いが行われている。

○藤原地区の無線局の周辺の土地で測量が行われていたが、何か行われるのか。

⇒国で行われている国有地の売り払いの対象の土地になっているのではないかと思う。

○工業団地は怎么样了か

⇒県が工業団地としての計画は断念した。しかし三芳から白浜までの基幹農道が通る。道路がないと土地利用ができない。将来的には生きてくる土地だと思う。

○排水路があまりない中で、家がどんどん建ち始めてしまっている。この計画で排水路の整備をするということはできないのか。雑排水の排水路の整備はできるか。

⇒新しく雑排水専用の排水路を整備するのは困難である。建築するに当たり合併浄化槽を通じて流すことになっている。開発では排水路の断面が足りない状況であれば、改修指導ができる。新たに整備するには土地の手当てが必要。

○茂名地区の道路で、大雨時に通行止めになってしまう道路がある。市はいつになったら対策してくれるのか。この道路の整備優先度をあげて欲しい。

⇒担当課に意見があったことを伝えておく。

○都市計画税は市内全域でかかっているが、山間部の地域にはなかなか施設整備がされないのが現状。また、船形地区でも国道 127 号ができた影響を受けているようだ。

○今までの手付かずの計画道路はどうするのか。

○郊外は取り残されていくのか。過疎化していくバス路線も減らされていく。高齢化すれば運転も出来なくなる。家族もいなくなるし孤立する。こうした問題も踏まえて都市計画を考えているのか。

⇒都計道について、1 本整備には 10 年、何十億もの金がかかる。その中で 40 年近く未整備のままであり、計画道路上にはさまざまな規制がある。国や県でも見直しの方向で動いている。今の時代は、整理すべき道路は整理して廃止していくべきだと思う。

コンパクトシティが謳われている。中心市街地においても市街化が郊外へ広がり、中心が疲弊してきている。しかし、また再度、駅中心に集約するまちづくりの方向が良いのか。また、127 号沿いに大型商業施設が並び拡大してきている状況です。市としてもまちづくりの方向性が定まっていない。住民にとって、良い方向を念頭において見出したい。

○神戸地区は中心地とはちがい田舎です。しかし、全国へ誇れる安房神社がある。地元にも知っている人がすくない。小塚大師は川崎大師よりも格は上。歴史文化資産の PR が足りない。こうしたことを念頭において計画を立ててもらいたい。

⇒市内で、人口が増えているのが館野地区、減ってはいるが、ほぼ横ばいが神戸地区、他は減少している。

この地域は自然もある。市内に住んでいてもよい地区との認識だ。農業生産ではこの地域が高い。こうしたことを考慮しながら、国道 127 号～410 号がつながり、利便性が良くなった。こうしたことを踏まえて検討したい。